

文字列が傾いて見える錯視

北岡明佳 (きたおか てるし)

「ことが傾いて見える」現象がある。といっても、何か深遠な意味があるわけではない。書かれた文字列が傾いて見える錯視のことを指しているだけである。錯視とは、目の錯

覚のことである。図1に、文字列が傾いて見える錯視の例を一つ示した。私が勤めている大学の名前である「立命館」を繰り返し書くと右下がりに見え、私の専門領域である「心理学」を繰り返し書くと右上がりに見える。私が見つけたこの種の錯視で、文字に意味があるもので、しかも錯視の強さが最大のものは、「科研究交付」文字列である(図2)。「科研究交付」とは、(国から分配される代表的な競争的研究費である)科学研究費補助金の交付、という意味である。

さて、文字列が傾いて見える錯視の原因は、何だろうか。横書きの文字列が傾いて見える錯視の場合、文字の中に含まれる水平の構構成分(横画)が、文字が進むと少しずつ位置が上がつていくあるいは下がっていくのが原因と考えられている。この考え方は、インターネットの掲示板の参加者も、この錯視研究の学術的な専門家も同意見のようである。これに関して、小原(三三三)は、文字列が傾いて見える錯視とポツアル錯視(図4とその説明を参照)の関係を指摘している。新井・新井(三三三)はその原理を使っていろいろな例を作成したが、図5はその一例である。すなわち、月火水木金土日の中から適切な文字列を選ぶと「月木土金」で、繰り返し返すとその文字列が右下がりに見える。

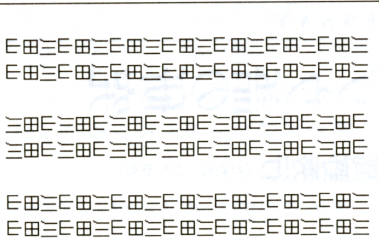


図3 「山田川」傾き錯視。「山田川」と繰り返し縦に書くとき左に傾くと見え、「川田山」と繰り返し書くと右に傾いて見える。

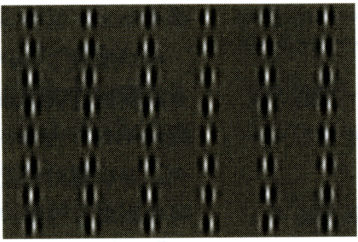


図4 ポツアル錯視。縦横構構が一定方向に少しずつずれているのだが、縦横構構が一定方向に少しずつ傾いて見える現象。各列は、上から右・左・右・左・右・左に傾いて見える。



図5 「月木土金」傾き錯視。「月木土金」と繰り返し書くとき右下がりに見える。「金土木月」と書くとき右上がりに見える。作者の許可を得て紹介。

本語では明朝体よりもゴシック体である。横棒はシンプルながよいかもしれない。この錯視を引き起こしやすい文字列として、漢字以外には片仮名がある。アルファベットでは作りにくいようである。もっと調べれば、文字列が傾いて見える錯視を作りやすい言語が他にもあるかもしれない。

【文献】

- 新井仁之・新井しのぶ(三三三)「文字列傾斜錯視の解析?—ウェブプリント分解を用いた文字列傾斜錯視の作成」視覚数学e研究室報告 2、四
- 小原未紗(三三三)「文字列が傾いて見える錯視における水平成分の役割」立命館大学文学部(心理学専攻)三三三年度卒業論文

(立命館大学文学部/心理学)

もともと、文字列が傾いて見える錯視は、日本語のインターネットの掲示板における一般の人の遊びとして現れた。いずれも私は作者を特定できていないが、「ゴニア画」と繰り返し書くと文字列が右上がりに見え、「杏マナ1」と繰り返し書くと右下がりに見えるという例がよく知られている。月刊言語は縦書きだから、縦書きの文字列が傾いて見える錯視も、この機会に考えてみた。それが図3である。「山田川」と繰り返し書くと、文字列が垂直から少しだけ左に傾いて見える。十分な調査をすれば、さらに錯視量の多い縦書きの文字列が見つかるのに違いない。

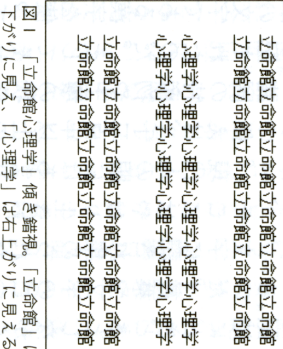


図1 「立命館心理学」傾き錯視。「立命館」は右下がりに見える、「心理学」は右上がりに見える。

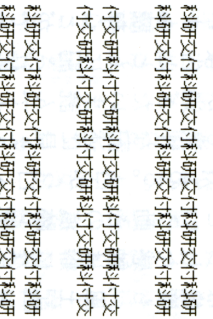


図2 「科研究交付」傾き錯視。「科研究交付」は右下がりに見える、「付交研科」は右上がりに見える。

言語

2007
2

Vol.36・No.2

2007年2月1日発行(毎月1日発行)第56巻第2号通巻427号 昭和47年5月12日第3種郵便物認可

特集

ダイクニスの現在研究

ことばで捉える「いま」と「こゝ」

ダイクニスの自由と規律 瀬戸賢一

ダイクニスを捉える枠組み 渡辺伸治

ダイクニスとメタ表象 内田聖二

会話の“場”を切り取る敬語 滝浦真人

直接引用句の創造 鎌田修

日本語学習者によるコソラの習得 迫田久美子

ダイクニスの中心をなす日本的自己 廣瀬幸生・長谷川葉子

●巻頭エッセイ

蜂 剣 耳 / 北岡明佳 / 高野秀行

◆連載

フレト連載 私のフレイトノートから フロロ語とフンジラ語 角田太作
フレト連載 言語学名書再読 『グロツキ』 『思考と言語』 森岡修一
大学生のための言語カトヘニング 三森ゆりか
佐倉統のサイエンスつれづれぐさ 佐倉統

◆鼎談
認知科学のフロンティア探訪

創造する脳、
伝える脳

岩田 誠+山鳥 重+辻 幸夫

